

角間荘

Kakumasou
(長野県山ノ内町)



これまでに角間温泉の越後屋、高島屋、共同浴場を紹介してきたが、今回紹介するのは角間温泉の最も奥に位置する角間荘である。

高島屋を通り過ぎてさらに坂道を登っていくと、道幅がどんどん狭くなる。車のすれ違いが困難と思われる道を 200m ほど進むと、右手に角間荘へのアプローチがある。このアプローチがさらに傾斜が急な坂道となっており、雪道の際は要注意である。

角間荘は炊事場所が備わった民宿だ。いわば長期間の湯治を可能とする施設と言えよう。しかし、昔ながらの湯治場のような古臭く田舎臭い施設ではない。実に快適できれいな施設なのだ。

温泉は 1 階にある。浴室は 2 つあるが、男風呂、女風呂に分かれているわけではない。空いていればどちらに入ることもできる。男風呂として使用中なのか、女風呂として使用中なのか、貸し切りとして使用中なのかの札を掲げておけば自由に使用可能だ。

どちらの脱衣室にもロッカーはない。脱いだものを入れる籠が 4 個あるだけである。貴重品は部屋に置いてくるか、フロントに預ける方法があるが、他の客がいなければ、あまり神経質になる必要はなさそうだ。どちらの浴室もシンプルであり、洗い場が 4 か所あり、浴槽があるだけである。洗い場にはシャンプーとボディーソープが具備されている。

浴槽の湯は硫黄臭がして無色透明。湯温はやや熱めであるが、水で薄めながら入ることもできる。取材日前の 2 日間は肉体労働が続き、足腰が痛い。また、それに追い打ちをかけるように取材日にはスキーをしてしまったので、温泉は最高の治療である。8 人程度が入れる浴槽につかりながら、ストレッチをして痛みをほぐした。

入浴後は客室でおでんパーティー。炊事場所から鍋、食器、電磁調理器を持ち込んでの宴会である。客室にはこたつがある。こたつは皆が自然と集まって顔を突き合わせる事ができる不思議な家具だ。あくまでも冬限定ではあるが。

角間荘は温泉と自炊を楽しめる宿だ。数日間滞在して、何も考えず、ボ～とするのがいい。



DATA

名称	角間荘
所在地	長野県下高井郡山ノ内町佐野 2137-1
電話	0269-33-8290
営業時間	チェックイン後、いつでも入浴可能（深夜は洗いの湯は停止）
定休日	無休
入浴料	宿泊者は無料、日帰り入浴不可
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
泉質	含硫黄－ナトリウム－塩化物温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）
効能	筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、ねん挫などの慢性期）、運動麻痺による筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、胃にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、皮膚乾燥症、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、慢性湿疹、表皮化膿症
取材日	2022年12月10日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	志賀高原